

1 次の文を読んで、後の問に答えなさい。

近年、国内外で、気温が上昇したり、記録的な豪雨や台風がたびたび起こったりするなど、気候変動の影響による異常気象が発生しています。現在の気候変動を引き起こす原因の一つとなっているのが、人間の経済の営みです。経済成長により私たちの生活が便利になる一方で、公害による健康被害や、自然環境の破壊が起こっています。

日本では、高度経済成長期に重化学工業が大きく発展する中、水や大気の汚染が広がり、①四大公害病に代表される、深刻な公害問題が起こりました。公害を引き起こした企業を訴える②裁判が開かれ、しだいに③公害対策を求める国民世論も高まってきました。公害に対する社会的関心が大きくなる中で、④国会では新しく法律が制定されました。

世界全体で見ると、地球温暖化が進んでいます。経済が成長し、さらにその規模が大きくなると、その分だけ多くの資源が消費されるようになって、⑤大気に出される二酸化炭素などの温室効果ガスが増加することにつながります。この他にも、熱帯雨林の減少や砂漠化、水や大気の汚染、酸性雨など、さまざまな環境問題が引き起こされています。このような自然環境の変化や破壊によって、居住地を失ってしまった「環境難民」も発生しています。環境の悪化が、⑥紛争の原因になることもあります。例えば、異常気象によって干ばつが発生し、深刻な被害をもたらすようになると、水資源をめぐる争いなどが起こります。

これまでは、大量生産と大量消費によって実現する、経済成長が求められてきました。しかし現在起こっている問題を考えたとき、地球環境と未来の世代を守るためには、私たちの生活のしくみそのものを見直す必要があるのかもしれない。

問1 下線部①について。四大公害病が発生した市の一つでは、地球規模での水銀汚染を防止するための条約について外交会議が開かれ、条約が採択されました。2017年に発効したこの条約の名前にもなっている市はどこですか。県名とともに答えなさい。

問2 下線部②について。日本の裁判や裁判所に関する説明として、正しいものを次のイ～ニから一つ選び、記号で答えなさい。

- イ 裁判で有罪が確定し、その後無実の罪であると明らかになったことは、これまでに一度もない。
- ロ 最高裁判所だけでなく、高等裁判所や地方裁判所も、法律が憲法に違反していないかを審査することができる。
- ハ 裁判員裁判では、国民の感覚を裁判に反映させるために、裁判員だけで有罪か無罪かを決める。
- ニ 裁判所だけでなく内閣や国会も、必要な場合には犯罪行為についての裁判を開き、刑罰を決めることができる。

問3 下線部③について。公害が大きな社会問題となる中で、環境権が人権として主張されるようになりました。環境権は、「良好な環境で生活するための権利」ですが、「人間らしい生活を送ることができるように、国家による国民生活への積極的な関わりを、国民が求める権利」という性質を持っています。これと同じ性質の権利を、次のイ～ニから二つ選び、記号で答えなさい。

- イ 教育を受ける権利
- ロ 法のもとの平等
- ハ 居住や移転、職業を選ぶ自由
- ニ 仕事に就いて働く権利
- ホ 政治に参加する権利
- ヘ 思想や学問の自由

問4 下線部④について。法律の制定に関する説明として、正しくないものを次のイ～ニから一つ選び、記号で答えなさい。

- イ 日本国憲法では、国会を「唯一の立法機関」としており、国会だけが法律をつくることができる。
- ロ 法律案は、必ず参議院よりも先に衆議院に提出することが、日本国憲法で定められている。
- ハ 法律案は、まず委員会で話し合い、採決された後に本会議へ送られることになっている。
- ニ 法律案は、本会議で行う多数決で、出席した国会議員の過半数の賛成により可決される。

問5 下線部⑤について。

- (1) 国際連合は、気候変動枠組条約を採択し、温室効果ガスの削減目標を定めるなど、取り組みをしてきました。日本もこの条約を結んでいます。条約を結ぶ手続きについて説明した、次の文中の(イ)(ロ)にそれぞれふさわしい語句を入れなさい。

日本国憲法では(イ)を、条約を結ぶ国の機関として定めています。ただし、事前に、あるいは事後に国会の(ロ)を経ることを必要とする、としています。

- (2) 右の図は、2019年の世界の温室効果ガス排出量の割合です。図中の(A)と(B)にあてはまる国名を、それぞれ答えなさい。

- (3) 現在は先進国グループよりも、発展途上国(急速な経済成長が進む国をふくむ)グループの方が、温室効果ガスの排出量が多くなっています。温室効果ガスの削減に向けた国際社会の取り組みの中で、「各国は、現在のそれぞれの排出量に合わせた削減目標を設定するべきだ」という先進国側の意見がありました。発展途上国の立場に立って、この先進国側の意見に対する反対意見を考え、解答欄の言葉に続けて書きなさい。

著作権の関係上、非表示しています。

問6 下線部⑥について。世界各地で起こる紛争の原因として、環境の悪化の他に、政治上の理由や、民族、宗教上の対立などがあります。

- (1) 第二次世界大戦後、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の聖地エルサレムがある地域にイスラエルが建国されると、これをきっかけとしてイスラエルとアラブの国ぐにとの間で戦争が起きました。その後もこの地域をめぐる、数回にわたり戦争が繰り返され、多くの難民が発生しました。現在もイスラエルとこの地域に住む人びととの間で対立が続いています。この問題を何といいますか。
- (2) 国際連合は、紛争や戦争の拡大を防止したり、民主的な選挙が行われるように監視したり、復興のための道路整備などを行っています。この国際連合の活動を何といいますか。

2 日本は古い時代から、朝鮮半島や中国と密接な関係をもってきました。次の年表を見て、問に答えなさい。

問1 年表中の(あ)～(か)について。

- (1) (あ)～(お)には、中国の王朝名がそれぞれ入ります。組み合わせとして、正しいものを次のイ～へから選び、記号で答えなさい。なお、同じ記号の()には同じ王朝名が入ります。

イ あー漢 いー隋 うー元 えー明 おー清
ロ あー隋 いー唐 うー元 えー宋 おー明
ハ あー唐 いー隋 うー明 えー元 おー清
ニ あー隋 いー唐 うー元 えー明 おー宋
ホ あー漢 いー隋 うー唐 えー宋 おー明
へ あー隋 いー唐 うー元 えー明 おー清

- (2) (か)に入る中国の正式国名を答えなさい。

問2 次にあげたイ～チの中で、AとBの間の時期における日本の様子について述べた文として、正しいものはいくつありますか。0～8の数字で答えなさい。

イ 初めて日本に人が住むようになった。
ロ 人や動物などの形をした埴輪がつくられた。
ハ 煮たきをするために土器が使われた。
ニ 人びとの衣料として木綿が広まった。
ホ 邪馬台国の女王卑弥呼が魏に使節を派遣した。
へ 狩猟の道具として弓矢が使われた。
ト 寒冷な東北地方には人が住めなかった。
チ 人びとはたて穴住居にくらしていた。

問3 Cについて。

- (1) 渡来人が伝えた技術の中に、大陸の進んだ鍛冶の技術がありました。鍛冶の原料と製品の組み合わせとして、ふさわしいものを次のイ～チから一つ選び、記号で答えなさい。

イ 銅・錫 — 銅鐸 ロ 鉄 — 剣・刀 ハ 木 — 丸木舟 ニ 貝 — 腕輪
ホ 骨・角 — 釣針 へ 黒曜石 — 矢じり ト ひすい — 勾玉 チ 粘土 — 瓦

- (2) 5～6世紀の日本における出来事に関する説明として、正しいものを次のイ～へから二つ選び、記号で答えなさい。

イ ワカタケル大王が埼玉県の稲荷山古墳に葬られた。 ロ 渡来人が伝えた大陸の技術で東大寺が建てられた。
ハ 大和政権は渡来人の力を借りて中国への手紙を作成した。 ニ 中大兄皇子らが天智の改新とよばれる政治改革をはじめた。
ホ 律令とよばれる法律のもとづいた政治がはじまった。 へ 蘇我氏などの豪族が大王を中心として連合政権を形成した。

- (3) この頃までに、大陸から日本にある動物が持ちこまれたと考えられています。その動物は、戦いや陸上における移動・運搬手段、田畑の耕作などで使われるようになりました。他の移動・運搬手段が現れた後も、戦場に多数送られたり、生活の場において重要な役割を果たしたりしてきました。その動物とは何ですか。

問4 Dについて。この手紙を見た皇帝は怒ったと記録されています。なぜ怒ったと考えられますか。その説明として、ふさわしいものを次のイ～ニから一つ選び、記号で答えなさい。

イ 日本から使節を毎年派遣することをやめ、10年ごとにすることを告げる内容だったため。
ロ 日本が贈った品物が粗末だったにもかかわらず、大量の高級品を要求する内容だったため。
ハ 中国が日本に使節を派遣しなければ、軍隊を送って攻撃すると書かれていたため。
ニ 中国が主君の立場であるはずなのに、日本が対等の立場で書いた手紙だったため。

西 暦	出 来 事
	A 約1万年前、気候の温暖化により大陸から切り離され、日本列島が形成される
	B 朝鮮半島などから移り住んだ人びとが技術を伝え、日本で米づくりがはじまる
400 年	
	C 朝鮮半島や大陸から日本に移り住む渡来人が多くなる
600 年	
	D 小野妹子が使節として(あ)の皇帝に手紙を渡す
	E 日本が(い)と新羅の連合軍と白村江で戦う
700 年	
	F 鑑真が(い)から来日する
800 年	
	G (い)に使節を派遣することを中止する
1200 年	
	H (う)が二度にわたって日本を攻撃する
1400 年	
	I 足利義満が(え)との貿易をはじめ
1600 年	
	J 将軍の代がわりの時などに、朝鮮から使節が来日するようになる
	K 朝鮮半島をめぐる対立からおこった(お)との戦争に、日本が勝利する
1900 年	
	L 日本が大韓帝国を併合し、朝鮮半島を植民地とする
	M 日本と大韓民国が国交を開く
	N 日本と(か)との国交が正常化する

問5 Eの戦いは、朝鮮半島のある国を救うためのものでした。その国名を答えなさい。

問6 Fは奈良時代の出来事です。この時代の民衆に関する説明として、正しいものを次のイ～ホから二つ選び、記号で答えなさい。

- イ 『万葉集』の中には、農民の生活の苦しさをよんだ和歌も残されている。
- ロ 専門的な技術をもつ人が現れ、西陣織や陶磁器などの特産物が税として納められた。
- ハ 農民は耕作に専念することが求められ、農業以外の仕事をすることは禁止されていた。
- ニ 人びとは団結するために五人組を結成し、一揆や打ちこわしをおこして朝廷に抵抗した。
- ホ 農民は一定の年齢になると田を分け与えられ、稲を税として納める義務を負った。

問7 Gの背景の説明として、正しいものを次のイ～ニから一つ選び、記号で答えなさい。

- イ 源氏と平氏による内乱が広がり、使節を派遣することができなくなった。
- ロ 使節の大使となった菅原道真が、藤原氏と対立して大宰府に送られた。
- ハ かな文字が使われるようになり、使節が漢文を使った外交を行うことができなくなった。
- ニ 直接中国に向かう危険な航路が使われたため、使節の船がたびたび遭難した。

問8 Hについて。日本を攻撃した（う）を建国した民族を答えなさい。

問9 Iについて。足利義満に関する説明として、正しいものを次のイ～へから一つ選び、記号で答えなさい。

- イ 足利義満が京都の室町に「花の御所」を建てた。
- ロ 足利義満が大名の力をおさえるために参勤交代の制度を整えた。
- ハ 足利義満が保護した観阿弥と世阿弥が歌舞伎を大成した。
- ニ 足利義満のあとつぎをめぐる対立から応仁の乱がおきた。
- ホ 足利義満は金閣の近くに書院造の部屋がある東求堂を建てた。
- ヘ 足利義満が朝廷にせまって執権を置く権利を獲得した。

問10 Jについて。

(1) この時代にはこのような関係がありましたが、これ以前の16世紀末におきたある出来事をきっかけにして、日本と朝鮮との関係は悪化していました。関係が悪化したきっかけの説明として、正しいものを次のイ～ニから一つ選び、記号で答えなさい。

- イ 織田信長が、日本への使節派遣を拒んだ朝鮮を攻撃した。
- ロ 対馬の大名が、朝鮮からの攻撃に対する報復をした。
- ハ 豊臣秀吉が、大陸の支配をくだてて朝鮮を攻撃した。
- ニ 徳川家康が、日本との貿易を拒否した朝鮮に大軍を送った。

(2) その後明治時代になると、改めて条約を結んで日本と朝鮮との国交が開かれました。その条約に関する説明として、正しいものを次のイ～へから二つ選び、記号で答えなさい。

- イ この条約を結ぶため、山口県の下関に両国の代表が集まった。
- ロ この条約の中に、朝鮮にとって不平等な内容がふくまれていた。
- ハ この条約で、朝鮮の学校で日本語の授業を行うことが決められた。
- ニ この条約によって、日本は台湾と樺太南部をゆずられた。
- ホ この条約で朝鮮を独立国と定めたため、日中の対立が深まった。
- ヘ この条約で、朝鮮との貿易を浦賀で行うことが決まった。

問11 Kの後、日本はロシアとも朝鮮半島をめぐる対立から戦争をしました。日本とロシアが講和条約を結んで戦争は終わりましたが、条約の内容に国民の不満は高まりました。それはなぜか、説明しなさい。

問12 LとMの間の時期について。

(1) この時期におきた出来事を次のイ～リから6つ選び、時期の早い順番に並べた時に、3番目と5番目になるものを記号で答えなさい。

- イ 日本の国際連盟脱退
- ロ 日本の国際連合加盟
- ハ 第一回帝国議会の開催
- ニ 日米安全保障条約の調印
- ホ 第一次石油危機
- ヘ 日本国憲法の公布
- ト 日中戦争の開始
- チ 小笠原諸島の日本復帰
- リ 米騒動

(2) この時期におこった朝鮮戦争の背景には、冷戦とよばれる二つの国を中心とした対立がありました。この対立に関する説明として、正しくないものを次のイ～ニから一つ選び、記号で答えなさい。

- イ この対立の影響をうけ、朝鮮半島やドイツは二つの国に分裂することとなった。
- ロ この対立で核兵器の開発が競われ、太平洋で行われた水爆実験で日本の漁船が被ばくした。
- ハ この対立の終結宣言は、日本で高度経済成長が続いていた時期に出された。
- ニ この対立の一方の中心だったソ連は、サンフランシスコ平和条約に調印しなかった。

問13 Nについて。国交を回復した日本と（か）についての説明として、正しいものを次のイ～ホから一つ選び、記号で答えなさい。

- イ 国交回復と同時に平和友好条約も結ばれ、両国の交流はいつそうさかんになっていった。
- ロ 国交を回復して以来、毎年必ず首脳どうしが会談を行うために両国の間を往来している。
- ハ 国交回復の背景には、ベルリンの壁の崩壊に象徴される国際情勢の変化があった。
- ニ この国は日本の重要な貿易相手国であるが、21世紀以降は輸出入額で大韓民国に及ばない。
- ホ 国交回復の記念として、この国から東京の上野動物園にパンダが贈られてきた。

3 次の表と図を見て、後の問に答えなさい。

表 2022 年度の各発電における発電量の多い都道府県（上位 5 位まで）

	①	②	原子力	③	④	⑤
1位	富山県	あ	福井県	う	福島県	大分県
2位	岐阜県	神奈川県	鹿児島県	北海道	茨城県	秋田県
3位	新潟県	愛知県	い	秋田県	岡山県	鹿児島県
4位	長野県	兵庫県	佐賀県	岩手県	北海道	岩手県
5位	福島県	福島県	—	三重県	宮城県	北海道

（資源エネルギー庁「電力調査統計」2022 年度都道府県別発電実績により作成）

著作権の関係上、非表示にしています。

問1 表中の①～⑤には、火力、水力、太陽光、風力、地熱のいずれかがあてはまります。番号と発電のエネルギーの組み合わせとして、正しいものを次のイ～へから一つ選び、記号で答えなさい。

イ ①－火力 ②－水力 ③－風力 ④－太陽光 ⑤－地熱

ロ ①－地熱 ②－風力 ③－水力 ④－太陽光 ⑤－火力

ハ ①－風力 ②－太陽光 ③－水力 ④－地熱 ⑤－火力

ニ ①－水力 ②－火力 ③－風力 ④－太陽光 ⑤－地熱

ホ ①－水力 ②－火力 ③－太陽光 ④－地熱 ⑤－風力

ヘ ①－火力 ②－太陽光 ③－地熱 ④－水力 ⑤－風力

問2 次にあげるイ～ハの文は、表中のあ～うのいずれかの県について述べたものです。あ～うの県にあてはまる文をイ～ハからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

イ この県には、瀬戸内工業地域にふくまれる、造船やタオルなどの製造業が発達した地域がある。農業もさかんで、みかんなどの柑橘類の生産量は日本有数である。漁業では、マダイの養殖も有名で、鯛めしや鯛そうめんなどの郷土料理がある。

ロ この県は、イカやサバの漁獲量が多く、マグロの一本釣りも有名である。農産物では、りんご、ながいも、にんにくの生産量が多い。隣接する県にまたがる世界自然遺産に登録されている山地や夏季に開催されるねぶた祭りが有名で、全国から多くの観光客が訪れる。

ハ この県には、貿易額日本一の空港があり、沿岸部には鉄鋼業や石油化学工業などが集まる工業地域が発達している。農産物では、だいこんやねぎ、なし、落花生などの生産量が多く、近郊農業がさかんである。また、この県には江戸時代から続くしょうゆの産地がある。

問3 火力発電ではエネルギー源として、主に石炭、石油、天然ガスが用いられています。燃やした時に出る二酸化炭素が石炭や石油に比べると少ないことから、天然ガスの消費量が増えてきています。現在、日本が天然ガスを最も多く輸入している国はどこか、国名を答えなさい。

問4 水力発電について。

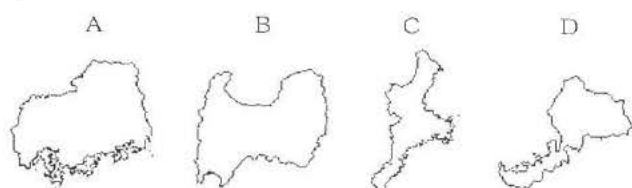
(1) 水力発電所にはダムがありますが、ダムは発電に利用される以外に、水を貯え河川の氾濫などの水害を防ぐ役割も果たしています。水を貯え河川の氾濫などを防ぐ役割を果たしているものを、次のイ～ホから一つ選び、記号で答えなさい。

イ 干潟 ロ 扇状地 ハ 森林 ニ リアス海岸 ホ 砂丘

(2) 首都圏は特に電力の消費量が多い地域です。首都圏に電力を供給する水力発電所がある河川のうち、日本で一番長い河川の水源がある県と河口に位置する県を、表中にある県から選び、それぞれ答えなさい。

問5 次に4つの県の形をあげました。その下にある人口密度は、それぞれ4つの県のいずれかのものです。表中の原子力発電の発電量が第1位の県の形と人口密度の組み合わせとして、正しいものを選択肢イ～エから一つ選び、記号で答えなさい。なお、人口密度は2022年度の統計によるもので、それぞれの県の形の縮尺は同じではありません。

形



人口密度

180 人/㎢ 240 人/㎢ 300 人/㎢ 323 人/㎢

選択肢

イ A－180 人/㎢	ロ B－240 人/㎢	ハ C－300 人/㎢
ニ D－323 人/㎢	ホ A－240 人/㎢	ヘ B－300 人/㎢
ト C－323 人/㎢	チ D－180 人/㎢	リ A－300 人/㎢
ヌ B－323 人/㎢	ル C－180 人/㎢	ロ D－240 人/㎢

問6 発電の際に二酸化炭素を出さず、エネルギー源を輸入する必要もない、太陽光、風力、地熱は、繰り返し発電することが可能なエネルギーです。このようなエネルギーを何というか、答えなさい。

問7 このページの右上にある図中の1960年と2020年のグラフを比較して、日本の発電量とその内訳がどのように変わったかを説明しなさい。なお、図からわかることを4つ以上入れること。

1

問 1	県		市		問 2		
問 3		問 4		問 5	(1) イ	ロ	
問 5	(2) A		B				
問 5	(3) 先進国は、						
問 6	(1)			(2)			

2

問 1	(1)	(2)			問 2		問 3	(1)
問 3	(2)		(3)	問 4		問 5		
問 6		問 7		問 8			問 9	
問 10	(1)	(2)						
問 11								
問 12	(1) 3番目	5番目	(2)	問 13				

3

問 1		問 2	あ	い	う	問 3		
問 4	(1)	(2) 水源	県	河口	県	問 5		
問 6								
問 7								